◆バッテリーがあがった時は

その対処として、次の 2 つの方法があります。

一つ目は、

1）ブースターケーブルによるエンジン始動

※農業機械の故障車と同電圧（12Vか 24Vかを確認）の救援車を手配して、ブースターケーブルを繋いでエンジン始動します。

※エンジンルーム内にバッテリーがない車両や、バッテリーを 2 個使用している車両では、その車両の取扱説明書に従ってください。

手順は次の通りです。

1．救援車、故障車ともにエンジンキーは OFF にして切っておきます。

2．ブースターケーブルを次の順序で接続します。

①故障車バッテリーの＋端子

②救援車バッテリーの＋端子

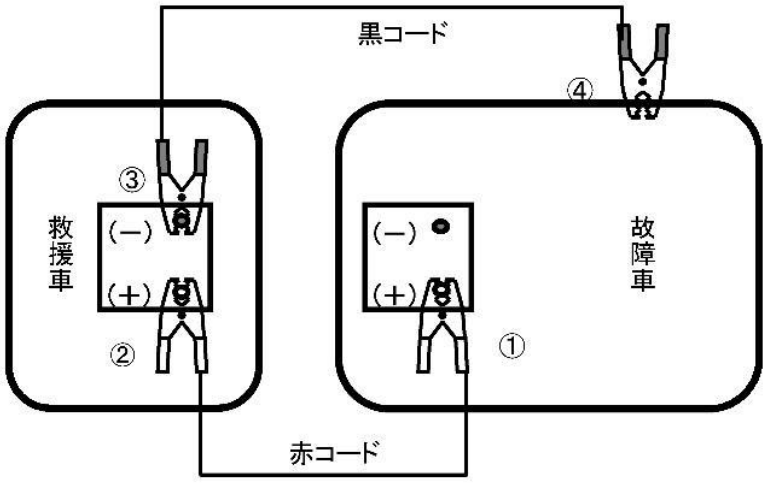
③救援車バッテリーのー端子

④故障車のエンジン本体（フックなど）やフレームの金属部

※④の接続では、端子に直結しません。

※ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないよう注意します。

＜イメージ図参照＞



※図の番号はブースターケーブルの接続順序です。

©Keigo-Kawaguchi　2014.01.17

３．救援車のエンジンを始動して、エンジン回転数を少し高めにしておきます。
４．故障車のエンジンを始動させます。
５．エンジンが始動したらブースターケーブルを接続時の逆の順序で外します。

もう一つは、

２）充電器による補充電

充電器でバッテリーを補充電する場合は、充電器の取扱説明書に従って行ってください。
充電は、補充電電流の普通充電電流で行います。
※補充電の充電時間は、普通充電電流で 5～10 時間が目安となります。

＜状態＞

① 比重計をお持ちの場合：電解液比重が 1.270 以上となり、１時間以上一定状態を保ち、どの液口からも盛んにガスが発生している。
② 電圧計をお持ちの場合：充電中の端子電圧が 15Ｖ以上となり、１時間以上一定状態を保ち、どの液口からも盛んにガスが発生している。
③ いずれもお持ちでない場合：どの液口からも盛んにガスが発生している。

＜注意＞

※バッテリーは、保管中でも自己放電しますから、取扱説明書の指示に従い定期的に補充電をします。
※充電中は、バッテリーの液口栓を開けておきます。
※室内の換気をしながら充電します。

©Keigo-Kawaguchi　2014.01.17